

No. 002 復刻版 *****

腐食センターニュース

*****1994年3月1日

腐食センター内に「材料のパフォーマンス研究会」を常置

材料のパフォーマンス研究会（分科会）は昭和 59 年に新設されて以来、昨年までの約 10 年間、当協会の研究専門委員会に所属して、約 25 名の委員が各種材料の腐食環境下における使用経験データを持ち寄り、委員相互の自由な意見交換を通じて材料のパフォーマンスの実態を明らかにする活動を続けてきた。このような継続的な性格は、とっく定のテーマを原則として 2 年でこなす、という研究専門委員会一般の研究会（分科会）の性格には必ずしもなじまないため、今年度から当センター常設の研究会として再発足することになった。例会は隔月の第 x 曜日のように、定例的にセットされる予定である。

主査は引き続き棚木敏幸氏（都立工業技術センター）がつとめ、委員は腐食防食協会の会員の中から希望者を募る。公設の工業技術センター・試験場、各分野の専門家が揃っているので、毎会后必ず開かれる“懇親会”での機会を含め、よい勉強になる。ただし、ギブアンドテイク、話題によってはドントオープンのエチケットが求められる。センターでは、この研究会を歓迎するとともに、その発展に大きな期待を持っている。